

令和4年度学部学生募集人員

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース		入学定員 (人)	募集人員 (人)		募集人員内訳 (人)																			
							一般入試				特別入試															
							前期日程		後期日程		共通テストを 課さない推薦		共通テストを 課す推薦		共通テストを 課す推薦(特別特)		私費外国人 留学生									
教育 学部	天王寺	養成 課程 教員	幼児教育専攻		15	15		12		—		—		3		—		—								
			小学校教育専攻	昼間コース		45	45		20		10		—		10		5		—							
				夜間コース		40	40		20		15		—		5		—		—							
	柏原	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	特別支援教育専攻		420	45		30		8		—		7		—		—								
			小中教育専攻	学校教育コース		25		17		—		—		8		—										
				国語教育コース		40		23		10		—		7		—										
				英語教育コース		15		11		—		—		4		—										
				社会科教育コース		35		28		—		—		7		—										
				数学教育コース		25		15		10		—		—		—										
				理科教育コース		35		25		5		—		5		—										
				家政教育コース		10		8		—		—		2		—										
				保健体育コース		30		20		10		—		—		—										
				音楽教育コース		10		7		—		—		3		—										
				美術・書道教育コース		15		10		5		—		—		—										
			中等教育専攻	国語教育コース		10		7		—		—		3		—										
				英語教育コース		15		11		—		—		4		—										
				社会科教育コース		10		6		—		—		4		—										
				数学教育コース		25		10		15		—		—		—										
				理科教育コース		25		18		4		—		3		—										
				技術教育コース		10		6		—		4		—		—										
				家政教育コース		10		5		2		—		3		—										
				保健体育コース		10		5		—		—		5		—										
				音楽教育コース		10		7		—		—		3		—										
	美術・書道教育コース			10		7		—		3		—		—												
	養護教諭養成課程				30	30		25		5		—		—		—		—								
	教員養成課程合計				550	550		353		99		7		86		5		—								
	教育 協 働 学 科		教育心理学専攻		350	40		21		9		—		—		—		10								
			健康安全科学専攻			35		25		6		—		—		—		4								
			理数情報専攻	数理情報コース		100		40		53		19		36		—		—		—		11		5		
				自然科学コース												60		34		20		—		—		—
グローバル教育専攻			英語コミュニケーションコース			75		30		28		—		—		25		10		—		22		7		
			多文化リテラシーコース									45		15		—		—		15		—		—		15
芸術表現専攻			音楽表現コース			50		40		30		25		11		6		9		—		—		若干人		
			美術表現コース									10		5		5		9		—		—		—		—
スポーツ科学専攻				50		17		10		20		—		—		—		3								
教育協働学科合計				350	350		174		72		29		25		0		50									
教育学部総計				900	900		527		171		36		111		5		50									

令和4年度 学部入学者選抜における大学入学共通テストの 利用方法及び個別学力検査等の概要について（予告）

令和2年11月
大阪教育大学

大阪教育大学では、令和4年度大阪教育大学入学者選抜における大学入学共通テストの利用及び個別学力検査等を次のとおり実施する予定です。

なお、配点等の詳細や英語の外部資格・検定試験の具体的な活用方法等については、決定次第改めて公表いたします。

なお、今後の状況により、本内容を変更した場合は、本学ウェブページにてお知らせします。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注1）教科・科目名は次のように略しています。

「国語」→国、「外国語」→外、「地理歴史」→地歴、「数学」→数、「理科」→理
「英語（リスニング含む）」→英（リ）、「ドイツ語」→独、「フランス語」→仏、「中国語」→中、「韓国語」→韓
「世界史A」→世A、「世界史B」→世B、「日本史A」→日A、「日本史B」→日B、「現代社会」→現社、「倫理」→倫、
「政治・経済」→政経、「倫理、政治・経済」→倫・政経
「数学Ⅰ」→数Ⅰ、「数学Ⅰ・数学A」→数Ⅰ・数A、「数学Ⅱ」→数Ⅱ、「数学Ⅱ・数学B」→数Ⅱ・数B、「簿記・会計」→簿、
「情報関係基礎」→情報
「物理基礎」→物基、「化学基礎」→化基、「生物基礎」→生基、「地学基礎」→地基、「物理」→物、「化学」→化、
「生物」→生、「地学」→地

（※）地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

（注2）大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

（注3）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）

また、英語以外を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま使用します。

（注4）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等において当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

（注5）地理歴史及び公民については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せをいいます。

（注6）理科については、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

（注7）「活動報告書等」とは、高校時代等に行った活動実績の概要を記載し、そこで身につけた能力、スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。「調査書」は活動報告書等の評価の参考とします。

（注8）個別学力検査の英語は聴き取り試験を行いません。

（注9）数学の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。
- ・「数学B」は「数列」、「ベクトル」から出題します。

（注10）理科の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。
- ・「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。
- ・「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。
- ・「地学基礎・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。

（注11）英語能力測定試験の詳細については、令和3年7月下旬発行予定の入学者選抜要項または学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。

令和4年度入学者選抜の実施教科・科目等について

課程・専攻・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	個別学力検査等		
	教科	科目名等	教科等		科目名等		
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1	前期	その他	面接 活動報告書等(注7)
			共通テストを課す 推薦	その他	実技検査 面接 活動報告書等(注7)		
	小学校教育専攻	昼間コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1	前期	その他
共通テストを課す 推薦	その他			面接 活動報告書等(注7)			
中学校教育専攻	特別支援教育専攻	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1	前期	その他	小論文
			共通テストを課す 推薦	その他	面接		
	小中教育専攻	学校教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1	前期	その他
共通テストを課す 推薦	その他			面接			
小学校教育専攻	国語教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1	前期	国 その他	国語総合、国語表現、現代文A、 現代文B、古典A、古典B 面接
			共通テストを課す 推薦	その他	小論文 面接		
	英語教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※ 英語能力測定試験等の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に加算します。(注11)	必須 から1 から1又は2 から1 から1	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (聴き取り試験を含まない。) (注8)
共通テストを課す 推薦	その他		面接				
中学校教育専攻	社会科教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1	前期	その他	小論文
			共通テストを課す 推薦	その他	面接		
小学校教育専攻	数学教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 C又はD	前期	数 理	数I・数II・数III・数A・数B(注9) 物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注10) (試験開始後に選択)
			共通テストを課す 推薦	数	数I・数II・数III・数A・数B(注9)		

課程・専攻・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	個別学力検査等			
		教科	科目名等			教科等	科目名等		
学校 教育 専攻 養成 課程	小 中 教育 専攻	理科教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国	必須	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1 (注10) (試験開始後に選択)	
				英(リ)、独、仏、中、韓	から1				
				世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1				
				現社、倫、政経、倫・政経	から1				
				数I、数I・数A	から1				
数II、数II・数B、簿、情報	から1								
A物基、化基、生基、地基から2	C又はD	共通テ ストを 課す 推薦	面接						
B物、化、生、地から1									
C物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1(注2)									
D物、化、生、地から2									
[5教科7~8科目]									
家政教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	国	必須	前期	その他	小論文		
			英(リ)、独、仏、中、韓	から1又は2					
			世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2					
			現社、倫、政経、倫・政経	から1					
			数I、数I・数A	から1					
数II、数II・数B、簿、情報	から1								
A物基、化基、生基、地基から2	⇒A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	面接						
B物、化、生、地から1									
C物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1(注2)	⇒C又はD								
D物、化、生、地から2									
[5教科7~8科目又は6教科7~8科目]									
保健体育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	その他	実技検査		
			世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1					
			現社、倫、政経、倫・政経	から1					
			数I、数I・数A	から1					
			数II、数II・数B、簿、情報	から1					
A物基、化基、生基、地基から2	A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	実技検査						
B物、化、生、地から1									
[5教科5~6科目]									
音楽教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理			国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	その他	実技検査
					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1			
		現社、倫、政経、倫・政経	から1						
		数I、数I・数A	から1						
		数II、数II・数B、簿、情報	から1						
A物基、化基、生基、地基から2	A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	実技検査						
B物、化、生、地から1									
[5教科5~6科目]									
美術・書道 教育コース	国 外 地 歴 公 民 数 理			国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	その他	実技検査 面接
					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1			
		現社、倫、政経、倫・政経	から1						
		数I、数I・数A	から1						
		数II、数II・数B、簿、情報	から1						
A物基、化基、生基、地基から2	A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	実技検査						
B物、化、生、地から1									
[5教科5~6科目]									
国語教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理			国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	国	国語総合、国語表現、現代文A、 現代文B、古典A、古典B
					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から2			
		現社、倫、政経、倫・政経	から1						
		数I、数I・数A	から1						
		数II、数II・数B、簿、情報	から1						
A物基、化基、生基、地基から2	A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	面接						
B物、化、生、地から1									
[5教科7~8科目又は6教科7~8科目]									
英語教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理			地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	国	必須	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (聴き取り試験を含まない。) (注8)
					英(リ)、独、仏、中、韓	から1又は2			
		世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2						
		現社、倫、政経、倫・政経	から1						
		数I、数I・数A	から1						
数II、数II・数B、簿、情報	から1								
A物基、化基、生基、地基から2	⇒A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	面接						
B物、化、生、地から1									
C物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1(注2)	⇒C又はD								
D物、化、生、地から2									
[5教科7~8科目又は6教科7~8科目]									
※ 英語能力測定試験等の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に加算します。(注11)									
社会科教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理	国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	その他	小論文		
			世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から2					
			現社、倫、政経、倫・政経	から1					
			数I、数I・数A	から1					
			数II、数II・数B、簿、情報	から1					
A物基、化基、生基、地基から2	A又はB	共通テ ストを 課す 推薦	面接						
B物、化、生、地から1									
[5教科7~8科目又は6教科7~8科目]									
数学教育 コース	国 外 地 歴 公 民 数 理			国	英(リ)、独、仏、中、韓	必須	前期	数理	数I・数II・数III・数A・数B(注9) 物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注10) (試験開始後に選択)
					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1			
		現社、倫、政経、倫・政経	から1						
		数I、数I・数A	から1						
		数II、数II・数B、簿、情報	から1						
C物基、化基、生基、地基から2並びに物、化、生、地から1(注2)	C又はD	共通テ ストを 課す 推薦	数						
D物、化、生、地から2									
[5教科7~8科目]									

課程・専攻・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
		教科	科目名等		教科等	科目名等	
学校 教育 専攻 養成 課程	中等 教育 専攻 課程	理科教育 コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注10) (試験開始後に選択)
				から1			
				から1	共通テ ストを課す 推薦	その他	面接
	技術教育 コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1	前期	その他	小論文 面接 調査書及び志望理由書	
			から1				後期
			から1	共通テ ストを課さ ない推薦	その他	小論文 面接	
	家政教育 コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1	前期	その他	小論文	
			から1又は2				後期
			から1	共通テ ストを課す 推薦	その他	面接	
	保健体育 コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1	前期	その他	実技検査	
から1			後期				その他
から1				共通テ ストを課す 推薦	その他	実技検査 面接 競技成績に関する証明書	
音楽教育 コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1	前期	その他	実技検査		
		から1				後期	その他
		から1	共通テ ストを課す 推薦	その他	実技検査		
美術・書道 教育コース	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1	前期	その他	実技検査 面接		
		から1				後期	その他
		から1	共通テ ストを課さ ない推薦	その他	小論文 実技検査 面接 志望理由書		
		※【美術分野】のみ共通テストを課さない推薦を実施します。(【書道分野】は実施しません。)			共通テ ストを課さ ない推薦	その他	小論文 実技検査 面接 志望理由書
養護教諭養成課程	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1	前期	その他	小論文		
		から1又は2				後期	その他
		から1	共通テ ストを課す 推薦	その他	面接		
教育 協働 学科	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2 並びに 物、化、生、地から1(注2) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1	前期	その他	小論文		
		から1又は2				後期	その他
		から1	共通テ ストを課す 推薦	その他	小論文		

課程・専攻・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	個別学力検査等		
	教科	科目名等			教科等	科目名等	
教育協働学科 健康安全科学専攻	国 外 地 歴 公 民 数 理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1 (注2) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	前期	その他	小論文
			後期	その他	面接		
理数情報専攻 数理情報コース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1 (注2) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD 後期Dのみ	前期	数 理	数I・数II・数III・数A・数B (注9) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 地から1 (注10) (試験開始後に選択)
			後期	数	数I・数II・数III・数A・数B (注9)		
自然科学コース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1 (注2) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD 後期Dのみ	前期	数 理	数I・数II・数III・数A・数B (注9) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 地から1 (注10) (試験開始後に選択)
			後期	その他	面接(実験・観察の内容を含む。)		
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	前期	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II・英語会話 (聴き取り試験を含まない。) (注8)
			共通テストを課す 推薦	その他	面接		
多文化リテラシーコース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	前期	その他	小論文
			共通テストを課す 推薦	その他	面接		
芸術表現専攻 音楽表現コース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査 志望理由書
			後期	その他	実技検査 志望理由書		
			共通テストを課さない 推薦	その他	小論文 実技検査 演奏能力・創作力に関する証明書 志望理由書		
美術表現コース	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査
			後期	その他	実技検査		
スポーツ科学専攻	国 外 地 歴 公 民 数 理		国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	前期	その他	実技検査
			後期	その他	実技検査		
			共通テストを課さない 推薦	その他	小論文 実技検査 面接 競技成績に関する証明書		
※ 英語能力測定試験の成績により、個別学力検査等の配点等に加算します。(注11)							

令和4年度における

学校推薦型選抜の実施について（予告）

大阪教育大学では、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、次のとおり学校推薦型選抜を実施します。なお、国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限られていますのでご注意ください。

ただし、学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、国公立大学・学部（※独自日程で入学選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜については、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。また、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願については特に制限はありません。

詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。

なお、今後の状況により、本内容を変更した場合は、本学ウェブページにてお知らせします。

募集する課程・学科・専攻・コース

学校推薦型選抜を実施する課程・学科・専攻・コースは次のとおりです。

◆大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
		スポーツ科学専攻		20人

◆大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員
天王寺 (注)	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		3人
		小学校教育専攻	昼間コース	10人
			夜間5年コース	5人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		7人
		小中教育専攻	学校教育コース	8人
			国語教育コース	7人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	7人

			理科教育コース	5人
			家政教育コース	2人
			音楽教育コース	3人
		中等教育専攻	国語教育コース	3人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	4人
			理科教育コース	3人
			家政教育コース	3人
			保健体育コース	5人
	音楽教育コース		3人	
	教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	10人
			多文化リテラシーコース	15人

(注) 初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学します。

合格者(入学手続き者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース												
募集人員	4人												
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。）</p> <p>② 高等専門学校第3学年を令和4年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1) ①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(1) ②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})$ </div> <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評点</td> <td>100～90 点</td> <td>89～80 点</td> <td>79～70 点</td> <td>69～60 点</td> <td>59～0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、中学校・高等学校において技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0点								
選抜方法	<p>大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）、小論文及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>												

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース【美術分野】
募集人員	3人
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ芸術（音楽、書道を除く。）の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と高い実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p>
選抜方法	<p>大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）、小論文、実技検査及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>
その他	<p><u>書道分野については、特別入試（学校推薦型選抜）の募集は行いません。</u> 合格者には、入学前の学習支援として、個別の入学準備課題等を課します。詳細については、合格発表後にお知らせします。</p>

課程・専攻等	教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース
募集人員	9人
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者</p> <p>A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。）</p> <p>B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管弦楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は作曲・声楽・ピアノ・管弦打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。</p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、パーカッション</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者</p>
選抜方法	<p>大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書、志望理由書）、小論文及び実技検査を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>
その他	<p>出願資格に関わるコンクール名については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>

課程・専攻等	教育協働学科 スポーツ科学専攻
募集人員	20人
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者（出願資格に関わる大会名等については、次頁参照）</p> <p style="text-align: center;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、 体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、競技スポーツ選手の指導者を希望する者</p>
選抜方法	<p>大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）、小論文、実技検査及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>
その他	<p>本学が定める英語能力測定試験の等級又はスコアを満たしている場合は、所定の点数を得点加算します。詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>

出願資格に関わる大会名一覧(予告)

種目名	大会名等
陸上競技 <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校陸上競技選抜大会 ◇日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
サッカー	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 ◇Jユースカップ ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会
バレーボール	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
体操競技	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
ダンス	◇全日本高校・大学ダンスフェスティバル ◇洋舞(コンテンポラリー・バレエ・モダン・ストリート)コンクール
柔道	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣道	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会
水泳競技(競泳) <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会(インターハイ) ◇国民体育大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 ◇全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会(同等の大会を含む。)あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグに関しては、9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。

※3 変更がある可能性があります。詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。

課程・専攻等	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1 ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 ④物理、化学、生物、地学から2 } ①～④から1※
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>		
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等）、実技検査及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	
その他	<p>実技検査については、歌唱とピアノを行う予定です。</p> <p>詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>	

課程・専攻等	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	
募集人員	10人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1 ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 ④物理、化学、生物、地学から2 } ①～④から1※
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>		
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	
募集人員	5人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1 ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 ④物理、化学、生物、地学から2 } ①～④から1※
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとしします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超過して受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等）、及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	
募集人員	7人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	
募集人員	8人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 教育学、心理学、道徳教育学に深い関心を持ち、将来、学校教育の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	
募集人員	7人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者で、国語の学習成績の状況が 4.3 以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	
募集人員	4人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の英語の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B } から1 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」 } 又は2
	理科	①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 ②物理, 化学, 生物, 地学から1 ③物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 並びに 物理, 化学, 生物, 地学から1 *同一名称不可 ④物理, 化学, 生物, 地学から2 } ①～④から1*
	数学	数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1
	<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。 ・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。 	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその証明書等）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	
その他	<p>小中教育専攻英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	
募集人員	7人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	
募集人員	5人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の理科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } から1
	理科	③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 } ③又は④ ④物理、化学、生物、地学から2
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
<p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>		
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	
募集人員	2人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1 ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 ④物理、化学、生物、地学から2 } ①～④から1※
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。 ・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。 	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.6 以上の者で、音楽の学習成績の状況が 4.0 以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の音楽の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A } から1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴、公民から2科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科5～6科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び実技検査を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	
募集人員	4人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B } から1 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 } ①～④ ②物理, 化学, 生物, 地学から1 } から1※ ③物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 } 並びに 物理, 化学, 生物, 地学から1 *同一名称不可 ④物理, 化学, 生物, 地学から2 }
	数学	数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1
<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。 ・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。 		
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその証明書等）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	
その他	<p>中等教育専攻英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBTなどの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	
募集人員	4人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 理科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } から1
	理科	③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 } ③又は④ ④物理、化学、生物、地学から2
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
<p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>		
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」 } 又は2※
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1 ③物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 並びに 物理、化学、生物、地学から1 *同一名称不可 ④物理、化学、生物、地学から2 } ①～④から1※
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。 ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。 <p>*「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	
募集人員	5人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体若しくは個人種目で全国大会へ出場した者又は個人種目で各地区高体連主催の大会においてベスト8以上の成績を収めた者</p> <p>陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>各地区高体連主催大会名（個人種目のみ対象） 全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A } から1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎
	<p>・指定した教科・科目数を超過して受験した場合は、原則として最高点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴、公民から2科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科5～6科目）、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書）、実技検査及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	
募集人員	3人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から1 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A } から1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴、公民から2科目を受験した場合、又は理科（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科5～6科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び実技検査を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	

課程・専攻等	教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	
募集人員	10人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 将来、高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む者、又は英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B } から2 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } ①又は② ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1
	<p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、理科（物理、化学、生物、地学）から2科目受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	
その他	<p>グローバル教育専攻英語コミュニケーションコースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストと個別学力検査「面接」の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。</p> <p>詳細については、令和3年7月下旬発行予定の学校推薦型選抜学生募集要項にてご確認ください。</p>	

課程・専攻等	教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	
募集人員	15人	
出願資格	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者</p>	
大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	国語	国語
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	地歴公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B 現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」
	理科	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ②物理、化学、生物、地学から1
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎
	<p>から1</p> <p>・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし、地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合、又は理科（物理、化学、生物、地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。</p>	
選抜方法	<p>大学入学共通テスト（3教科3～4科目）、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）及び面接を総合して行います。ただし、総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とする場合があります。</p>	